

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	国立研究開発法人国立がん研究センター	
案件番号	1	
入札及び契約方式	一般競争入札（最低価格落札方式）	
契約の件名及び数量	夜間看護補助派遣業務単価契約	
契約締結日	2022年3月1日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社ルフト・メディカルケア	
入札経緯及び結果	2021年12月27日公告 2022年01月28日入札書受領期限 2022年02月03日開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	仕様書の記載内容の見直しを行った。
②業務等準備期間の十分な確保	○	業務準備期間については、1か月を確保している。
③公告期間の見直し	×	公告期間は前回と同じく、調達合理化計画上の20日間（平日）とした。
④公告周知方法の改善	○	同様の契約・調達参加事業者に周知を行った（最終的な配布は2社）。
⑤電子入札システムの導入	×	なし
⑥業者等からの聴き取り	○	辞退者（1社）に聞き取りをしたところ、派遣人数が多い（20名前後）ため参加できなかった、とのこと。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
派遣人数が多く、人員を確保することが難しいことが、辞退した原因であることから、業務等準備期間を3か月以上とし、業者が派遣人員を確保する時間的余裕を確保することとした。		
契約監視委員会のコメント		
業務等準備期間を確保するだけでなく、実施する業務ごとに分割して、業者が人員を確保出来るようにするとともに、年間契約リストを作成し、日程の管理を行うとともに、事前にマーケットリサーチを実施する等したうえで、業務等準備期間の確保に努めること。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
業務等準備期間を確保するだけでなく、実施する業務ごとに分割して、業者が人員を確保出来るようにするとともに、年間契約リストを作成し、日程の管理を行うとともに、事前にマーケットリサーチを実施する等したうえで、業務等準備期間の確保に努めることとした。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
小野 高史（監事）、近藤 浩明（監事）、長崎 武彦（外部有識者）、加藤 一郎（外部有識者）		

(注) 1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について（依頼）」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注) 2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注) 3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法 人 名	国立研究開発法人国立がん研究センター	
案 件 番 号	2	
入 札 及 び 契 約 方 式	一般競争入札（最低価格落札方式）	
契 約 の 件 名 及 び 数 量	情報活用戦略室における運用支援業務 一式	
契 約 締 結 日	2022年3月31日	
契 約 の 相 手 方 の 商 号 又 は 名 称 等	株式会社日立製作所 公共システム営業統括本部 学術情報営業第一部	
入 札 経 緯 及 び 結 果	2022年02月01日公告 2022年03月02日入札書受領期限 2022年03月04日開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	仕様書の記載内容の見直しを行った。
②業務等準備期間の十分な確保	×	業務準備期間はほとんど無いが、恒常的に人材が必要な業務では無く、運用支援可能な人材が継続的に確保されている事業者でしか履行が難しいものである。
③公告期間の見直し	×	公告期間は前回と同じく、調達合理化計画上の20日間（平日）とした。
④公告周知方法の改善	○	同様の契約・調達参加事業者に周知を行った（最終的な配布は2社）。
⑤電子入札システムの導入	×	なし
⑥業者等からの聴き取り	○	辞退社（1社）に聞き取りをしたところ、特定の専用構築システムを運用支援する内容であることから、難色があるとのことだった。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
システム構築業者のみ実施可能な業務にならないように、仕様書を緩和する等、見直したうえで、競争に付すこととした。		
契約監視委員会のコメント		
システム導入する時に、オープンソースのシステムにすることにより、運用支援業務を実施する業者が制約されることがないようにすること。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
新たにシステム導入する時は、オープンソースのシステムにする等、運用支援業務を実施する業者が制約されない仕様を検討することとした。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
小野 高史（監事）、近藤 浩明（監事）、長崎 武彦（外部有識者）、加藤 一郎（外部有識者）		

- (注) 1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について（依頼）」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。
- (注) 2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。
- (注) 3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	国立研究開発法人国立がん研究センター	
案件番号	3	
入札及び契約方式	一般競争入札（最低価格落札方式）	
契約の件名及び数量	ウイルス対策等管理システムライセンス 一式	
契約締結日	2022年3月9日	
契約の相手方の商号又は名称等	ネットワンシステムズ株式会社	
入札経緯及び結果	2022年02月17日公告 2022年03月03日入札書受領期限 2022年03月04日開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	×	なし
②業務等準備期間の十分な確保	○	業務準備期間は3週間程度だが、ライセンスの更新及び既存ネットワーク環境への適用であるため、十分な期間があると思われる。
③公告期間の見直し	×	公告期間は前回と同じく、調達合理化計画上の20日間（平日）とした。
④公告周知方法の改善	○	同様の契約・調達参加事業者に周知を行った（最終的な配布は3社）。
⑤電子入札システムの導入	×	なし
⑥業者等からの聴き取り	○	辞退者（2社）に聞き取りをしたところ、ネットワーク環境への適用に難色があるとのことだった。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
ネットワーク構築業者のみ実施可能な業務にならないように、仕様書を緩和する等、見直したうえで、競争に付すこととした。		
契約監視委員会のコメント		
ネットワーク導入時に、ネットワーク構築業者以外の業者がライセンス導入可能なネットワークを構築することにより、業者が制約されないようにすること。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
新たにネットワーク導入時は、ネットワーク構築業者以外の業者がライセンス導入可能なネットワークの構築等、業者が制約されない仕様を検討することとした。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
小野 高史（監事）、近藤 浩明（監事）、長崎 武彦（外部有識者）、加藤 一郎（外部有識者）		

(注) 1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について（依頼）」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注) 2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注) 3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	国立研究開発法人国立がん研究センター	
案件番号	4	
入札及び契約方式	一般競争入札（最低価格落札方式）	
契約の件名及び数量	遺伝子組換えマウスの維持・繁殖および供給業務（免疫療法開発分野）一式	
契約締結日	2022年3月24日	
契約の相手方の商号又は名称等	三協ラボサービス株式会社	
入札経緯及び結果	2022年01月28日公告 2022年02月28日入札書受領期限 2022年03月02日開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	業務内容について、担当者に確認し、具体的な業務内容の記載となるよう努めた。
②業務等準備期間の十分な確保	○	開札から業務開始まで約1か月期間を確保できた。
③公告期間の見直し	○	公告期間を3日間確保した。（前は15日間）
④公告周知方法の改善	○	ホームページの掲載及び柏地区院内掲示を行った。
⑤電子入札システムの導入	×	なし
⑥業者等からの聴き取り	○	受領したが参加しなかった業者へ聞き取りを行ったところ、所在地が京都であり、定期的なマウス輸送の手段を確保できないとの理由で入札参加を断念したとのことであった。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
<p>公告期間を1か月確保した結果、入札参加には至らなかったが、新規業者の入札説明書受領者があったことから、公告期間を50日程度確保し、新規業者の参入を図ることとした。</p> <p>本業務において、供給する遺伝子組換えマウスは、フランスの事業者から特許の利用許可を得た製法で遺伝子組換えマウスを作成するものであり、国内に複数ある利用許可を得ている業者に入札に参加しなかった理由を確認したところ、入札公告を掲載していることを認識していなかったとのことから、次回入札時は入札公告後、業務実施可能な業者に入札公告を掲載していることを周知して、入札への参加を誘引することとした。</p> <p>なお、遺伝子組換えマウスは生命維持機能が弱く、また、輸送中に死亡する危険性があることから、研究所から1時間以内に輸送可能な製造所と契約を締結することが一般的であることから、柏キャンパスから1時間以内の製造所に入札公告を掲載していることを周知して、入札参加を誘引することとした。</p>		
契約監視委員会のコメント		
<p>業者に対して、入札説明書を受領しなかった理由を確認したうえで、必要な措置を講ずること。</p> <p>また、メーカーに卸売業者を確認したうえで、業務実施可能な業者に入札公告を掲載していることを周知して、入札への参加を誘引すること。</p>		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
<p>業者に対して、入札説明書を受領しなかった理由を確認したうえで、必要な措置を講ずることとした。</p> <p>また、メーカーに卸売業者を確認したうえで、業務実施可能な業者に入札公告を掲載していることを周知して、入札への参加を誘引することとした。</p>		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
小野 高史（監事）、近藤 浩明（監事）、長崎 武彦（外部有識者）、加藤 一郎（外部有識者）		

(注) 1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について（依頼）」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注) 2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注) 3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法 人 名	国立研究開発法人国立がん研究センター	
案 件 番 号	5	
入 札 及 び 契 約 方 式	一般競争入札（最低価格落札方式）	
契 約 の 件 名 及 び 数 量	イルミナMiseq保守 一式	
契 約 締 結 日	2022年3月22日	
契 約 の 相 手 方 の 商 号 又 は 名 称 等	家田化学薬品株式会社	
入 札 経 緯 及 び 結 果	2022年02月09日公告 2022年03月10日入札書受領期限 2022年03月15日開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	業務内容について、担当者に確認し、具体的な業務内容の記載となるよう努めた。
②業務等準備期間の十分な確保	×	開札から業務開始まで2週間程度しか期間を確保できなかった。
③公告期間の見直し	○	公告期間を30日間確保した。（前は13日間）
④公告周知方法の改善	○	ホームページの掲載及び柏地区院内掲示を行った。
⑤電子入札システムの導入	×	なし
⑥業者等からの聴き取り	×	説明書の受領が1社のみであった。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
<p>入札説明書受領者が1者であったことから、イルミナMiseqの保守について、業者に確認したところ、メーカーによる保守は行っておらず、代理店と契約して保守を委託する必要があるとのことであった。 他の研究機器等取扱代理店に入札に参加しなかった理由を確認したところ、入札公告を掲載していることを認識していなかったことから、業務実施可能な業者に入札公告を掲載していることを周知して、入札への参加を誘引するとともに、公告期間を50日間程度確保して、入札説明書受領者数の増加を図るとともに、業務等準備期間を3か月程度確保することにより、新規業者の参入を図ることとした。</p>		
契約監視委員会のコメント		
業者に対して、入札説明書を受領しなかった理由を確認したうえで、必要な措置を講ずること。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
業者に対して、入札説明書を受領しなかった理由を確認したうえで、必要な措置を講ずることとした。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
小野 高史（監事）、近藤 浩明（監事）、長崎 武彦（外部有識者）、加藤 一郎（外部有識者）		

(注) 1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について（依頼）」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注) 2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注) 3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。